

1 調査の概要

(1) 目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

(2) 調査日時 平成25年4月24日(水)

(3) 対象学年 小学校第6学年 中学校第3学年

(4) 調査の内容

① 教科に関する調査(国語、算数・数学)

- ・主として「知識」に関する問題
- ・主として「活用」に関する問題
 - ・国語A、算数・数学A：主として「知識」に関する問題を中心とした出題
 - ・国語B、算数・数学B：主として「活用」に関する問題を中心とした出題

② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

ア 児童生徒に対する調査

【小学校…Ⅰ83項目、Ⅱ77項目、Ⅲ82項目】

【中学校…Ⅰ・Ⅲ83項目、Ⅱ77項目】

イ 学校に対する調査【小学校…118項目、中学校…108項目】

2 結果概要

(1) 教科に関する結果

① 総評

平均正答数と比べると、小学校算数は、全国平均と概ね同様の結果であったが、小学校国語における「知識」「活用」にやや課題が見られる。中学校は国語・数学ともに全国平均を上回る結果であった。

② 教科ごとの結果 (○：相当数の児童・生徒ができています点、●：課題のある点)

【小学校国語】

- 漢字を正しく読む、ことわざの意味を理解する。
- 漢字を正しく書く、文の意味を理解する、接続語を使って内容を分けて書く。
- 目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用して書く。

【小学校算数】

- 四則計算をする。
- 単位量あたりの大きさを表す式の意味理解、1アールの面積と等しい正方形の一辺の長さの理解、三角形の合同条件の理解。
- 情報を整理し、筋道を立てて考え、判断する。
- 二つの三角形の面積が等しいことを説明することや、二つの数量の関係の求め方を記述すること、割合をもとに判断し、理由を記述する。

【中学校国語】

- 漢字の楷書と行書との違いを理解して書く、文脈の中で敬語を正しく使う。
- 図と文章との関係を捉える。
- 課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える。

【中学校数学】

- () を含む正の数と負の数の計算ができる。
- 数量の関係や法則などを文字式で表すことができる。
- 関数の意味、確率の意味を理解している。
- ヒストグラムから相対度数を求めることができる。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する結果

- ・今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合が県及び国に比べてやや多い。
- ・県及び国に比べて、400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことが難しいと感じている児童が多い。
- ・普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行なっていると思う児童生徒の割合が少ない。
- ・将来の夢や目標をもっていると答えている児童生徒が県及び国に比べてやや少ない。

- ・家で、学校の授業の予習・復習をしている児童生徒がやや少なく、学習習慣が身につけていない傾向にある。
- ・国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている児童生徒がやや少ない。

3 今後の対応

①学校の組織的な取組

- ・学校全体で成果と課題を共有し、取組の工夫改善・充実に向け、各校の学力向上プランを見直すことで、全校体制での取組を推進する。
- ・市教委主催の研修会において、全小・中学校での取組について情報交換を行う。
- ・全小・中学校1名ほど先進校視察を行い、成果を生かした授業を各校で行い、市教委主催の研修会で市内の学校に実践を広める。
- ・各学校の課題を整理し、課題に合った対応を個別に検討・実施していく。

②指導方法の工夫改善

- ・各学校の成果と課題をもとに、授業改善に向けた校内研修の充実を図る。
- ・全小・中学校1名ほど先進校視察を行い、成果を生かした授業を各校で実践し、改善を図る。
- ・指導主事の地区担当や外部講師による効果的な指導方法の普及を図る。
- ・指導主事との「授業カンファレンス」により、教員一人ひとりの授業力向上に係る支援の強化を図る。
- ・国語科の基礎基本の定着及び「書く」指導の充実に重点を置き、指導方法の工夫改善を推進する。

③学習環境の整備

- ・各みすゞ学園において、研修主任や学力向上推進リーダー・教員、教育力向上指導員等が中心となり、小学校と中学校が連携した研修や交流を推進する。
- ・子どもたちの状況に応じたきめ細かな指導体制づくりの推進や幼保小・中・高の連携を充実させるためのカリキュラムづくりを推進する。

④学習習慣の確立

- ・家庭との連携を推進し、学習習慣の定着を図る。
- ・自主学習ノートや県が作成した問題の活用等、家庭学習に対する取組の充実を図る。

参考 国及び山口県の調査結果

「小学校」			「中学校」		
区分	平均正答数（問）		区分	平均正答数（問）	
	山口県	全国		山口県	全国
国語 A	11.6/18	11.3/18	国語 A	24.7/32	24.4/32
国語 B	5.0/10	4.9/10	国語 B	6.1/ 9	6.1/ 9
算数 A	14.8/19	14.7/19	数学 A	23.6/36	23.1/36
算数 B	7.8/13	7.6/13	数学 B	7.1/16	6.8/16

■調査問題・正答例・結果の詳細等については、下記HPをご覧ください。

- ・ [国立教育政策研修所 教育課程研究センター 「全国学力・学習状況調査」](#)
- ・ [山口県教育委員会 義務教育課 「全国学力・学習状況調査」](#)